

2022年 2月12日(土)

つながるShigaフォーラム

時間 11:30~14:00  オンライン開催 [定員 100名]

参加費無料

ご参加の方に、先着で『ひこにゃんのしおり』をプレゼント!

※先着60名様限り(いずれかおひとつ)です。お早めにお申し込みください。イラストの指定はできませんので、あらかじめご了承ください。



こちらの申込みフォームよりお申し込みください!

第1部

かれいどすこうぶ 滋賀ぐらし万華鏡

— 移住×落語?!編 —

コロナ禍を『笑い』で元気に!

第1部では、滋賀県出身の落語家 三遊亭わん丈さんをゲストにお招きし、滋賀県への想いや、滋賀県を題材にした落語をご披露いただきます。

また、滋賀県に移住された先輩移住者から、滋賀県の暮らしについてお話を伺います。

- ▶ 11:30 ~ 12:30 三遊亭わん丈さんによる滋賀県を題材にした落語・トーク
- ▶ 12:30 ~ 12:45 先輩移住者による滋賀県への移住体験談



撮影:Takumi Tezuka



撮影:橋 蓮二

三遊亭 わん丈氏 滋賀県出身

プロフィール

滋賀県初の江戸落語家。古典から自作まで幅広いネタをもち、埋もれてしまった古典や上方落語の再編、また企業や個人のプロフィールを落語にした「名刺落語」など独自の活動も好評を得ている。

若手では異例の国立演芸場の定期勉強会が開催されている。また笑点などメディア出演にも力を入れている。

受賞歴

- 2017年(平成29年)8月 NHK「真夏の話術 2017」優勝
- 2019年(令和元年)12月 フジテレビ Zabu-1グランプリ優勝
- 2020年(令和2年)9月 第31回 北とびあ若手落語家競演会 大賞 他多数

滋賀の好きなどころ

大人になればなるほど楽しめるころ 水と米が美味しいところ



先輩移住者 (滋賀県職員)

浅野 菜々子氏

草津市出身。

小学校入学時に、父親の転勤で東京へ移り住む。就職活動の際、滋賀へ戻る両親とともに、大好きな滋賀へ戻ることを決意し、しがJUI相談センターの池田相談員からの親身なアドバイスを受け草津市へUターン。

滋賀県の好きなどころは、住みやすく、琵琶湖などの自然が身近なところ。

第2部

Connect-Shiga 成果発表会



第2部では、Connect-Shigaでゼミやフィールドワークに参加されたゼミ生による、地域活性化につながるアイデア発表会を行います!

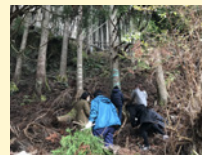
▶ 13:00 ~ 14:00 Shigaゼミ生による成果発表会

Connect-Shigaのゼミやフィールドワークについて

10月から12月にかけて、大津市葛川並びに愛荘町をテーマにしたゼミやフィールドワークを行いました。

大津市 葛川 自然環境を活かしたまちづくりを模索する

大津市北部の“通えるド田舎(市街地から近い)”という立地と、地域に眠る空き家などの生活空間や山林、農地、古道などの自然環境を活かした様々なツールの発掘やブラッシュアップをどのように進めていくか、これらの整備と活用を課題としてゼミやフィールドワークを行いました。

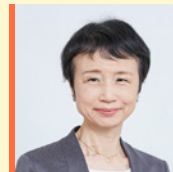


愛荘町 伝統的工芸品“近江上布”の次世代継承・発展

麻織物は愛荘町を中心とした湖東地域(彦根・東近江)にて発展し、現在もその活動が続いています。中でも、「近江上布」は国の伝統的工芸品にも指定されております。今回のゼミやフィールドワークでは、「近江上布」の新たな分野での活用方法の検討、新商品の開発検討を行いました。



講師



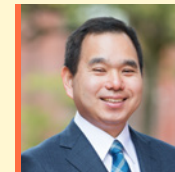
滋賀とのつながりコーディネーター (元滋賀県副知事)
池永 肇恵氏

東京大学教養学部卒業。

外資系銀行勤務を経て1987年経済企画庁入庁。同調査局、国民生活局、物価局等、内閣府男女共同参画局等を歴任。

2016年滋賀県副知事に就任。2018年より内閣府男女共同参画局長を務めた後、2020年に退職。

現在は、滋賀とのつながりコーディネーターとして、首都圏と滋賀をつなぐ活動を行っている。



龍谷大学政策学部 教授 只友 景士氏

職歴

1998年4月 - 2011年3月 滋賀大学 経済学部 助手、講師、准教授などを経て、2011年4月から現職。龍谷大学 政策学部 教授

プロフィール

1966年岡山県生まれ。1993年に滋賀大学経済学部を卒業後、京都大学大学院経済学研究科修士課程に入学。1996年に修士課程修了。専攻は、財政学・地方財政論・経済学。市民協働や地域づくりの実践的な教育プログラムの開発や市民協働と地域づくりに関する研究に取り組む。

※プログラムは多少変更になる場合があります。